

阪神港海上コンテナ協会 理事会

ターミナル渋滞対策など協議

【阪神】阪神港海上コンテナ協会(山口与嗣雄会長)は15日、神戸市東灘区の「六甲ファッションマート」で理事会を開き、ワッペン(共用海コン部会・協会)発注と費用やターミナル渋滞対策などについて協議した。

ワッペンの発注については、兵士協海コン部会で在庫がわずかになったことから今回、5000枚

の既存の看板を取り付けて渋滞解消を訴えていく。行政の対策は期待できず、渋滞による待機は労働時間の長時間化に大きく影響することが

の既存の看板を取り付けて渋滞解消を訴えていく。行政の対策は期待できず、渋滞による待機は労働時間の長時間化に大きく影響することが

15日から同月28日までの平均は260回を超えるなど台風被



書の状況やターミナルオープンプクローズの状況確認で活用されているものと思われ、10月以降はさらに閲覧数が極端に増加するなどの成果を上げたようだ。

また、渋滞調査については、今年12月の繁忙期の1か月間実施すること

を、今年16日に全会員にファクスする。また、大阪市港湾局との面談などの活動報告も行われた。(佐藤弘行)